

原子力発電部会セッション

エネルギー基本計画の見直しを見据えた産業界の安全性向上に係る自主的な取り組み
Voluntary efforts to improve nuclear safety in the energy industry with a view to the 6th strategic energy plan

(2) 安全性向上のための JANSI の取り組み

(2) Voluntary efforts to improve nuclear safety in JANSI

*渥美 法雄¹

¹原子力安全推進協会

1. はじめに

2011年3月に発生した福島第一原子力発電所事故のような外部への大量の放射性物質放出を伴う事故を二度と起こしてはならないという日本の原子力産業の総意に基づき、自主規制組織として2012年11月に原子力安全推進協会(JANSI)は設立された。

JANSIは、日本の原子力産業界における世界最高水準の安全性の追求(たゆまぬエクセレンスの追求)をミッションとして、安全性向上対策、ピアレビューなどの評価と支援の活動を展開している。

2. JANSI の取り組み**2-1. 自主規制組織としての JANSI の歩み**

現在の取り組みに至るまでの創成期の課題とそこから導かれる自主規制の目指す姿にふれ、そこで大切となる自主規制機関と事業者による協働の原則について紹介する。

2-2. 自主規制実現に向けた取り組み

原子力産業界自主規制実現のために定めた JANSI 事業運営の5原則および中期的な計画を定めた JANSI の10年戦略策定の流れ・主要アクションをご紹介します。また、その礎となっている計画策定時に合わせて考察した産業界の将来ビジョンについてもお示しする。

2-3. 活動状況

10年戦略で定められた主要なアクションについて、現在の活動状況を紹介します。主なものとして、ピアレビュー、安全文化診断、運転経験(OE)情報の活用およびリーダーシップ研修があり、それらの概要、活動状況および特徴などについて触れる。

3. まとめ

現在までの活動を踏まえ、産業界の将来ビジョンに対する達成状況を取りまとめ、現状の総括と今後の対応についてお示しする。

今後の取り組みとして、WANO、INPO 等の世界の中の支援組織および ATENA、NRRC 等の国内の産業界支援組織と連携して活動していくことが、さらに求められていくと考えている。

これらの活動の報告を原子力学会の場で行い、さらに幅広いご意見を傾聴し、より良い活動に繋げていきたいと考えている。

*Norio Atsumi¹

¹Japan Nuclear Safety Institute